

とびだせ あそびたい

校庭の自然で楽しもう

対 象 : 1 年生

教 科 : 生活科

関連する単元: なかよしいっぱい だいさくせん

時間数 : 3 時間

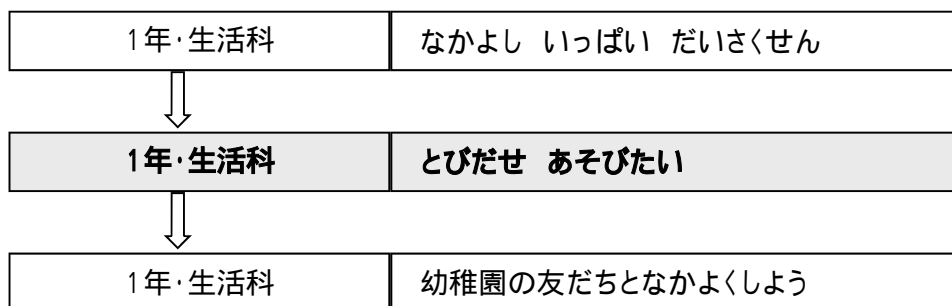
【単元の概要】

学習の背景

本校では、校庭に300種類以上もの樹木等が植えられている。春の学校探検でも児童は、それに気づいていた。本単元は、年間を通して活動を進めている。秋には、林試の森公園でどんぐり拾いを楽しんだ。たくさん拾ってきたくぬぎを手に、児童は、「どんぐりで を作りたい」との思いをふくらませていった。自然の中で活動し、自然の物に触れながら児童は、活動に熱中し、没頭していた。恵まれた環境を活用して活動することで自然環境に目を向けられる子どもに育てほしい。さらには、やさしさを育てほしいと考え、本単元を設定した。

単元の位置づけ

春に行った「なかよしいっぱい大作戦」の中で校庭も探検した。その体験で校庭にある自然に気づいた子どもたちの、自然に対する興味関心を高めるために本単元を設定した。



単元のねらい

- ・活動を楽しみながら、校庭の樹木や植物に親しもうとする。
- ・ゲストティーチャーとのかかわりを楽しむ。

概要

ゲストティーチャーを招き、の達人になろうと活動した。児童は、次の幼稚園児との交流の中で、園児にもできる活動を模索する中で、自分たちにとって魅力のあったネイチャーゲームの中から「はっぱのレントゲン」をしたいと意欲的だった。実際、園児にとっても身近な自然の物を活用して遊ぶことは、魅力のある活動であり、集中して取り組む姿がみられた。

指導計画（全3時間扱い）

2学期 導入：達人になろう

- ・ゲストティーチャーを自然の達人として紹介し、みんなも達人になろうと呼びかけることで、学習への意欲を高める。

2学期 展開：自然体験ゲームをしよう

- ・校庭の自然を使つての自然体験ゲームを行う。
- ・遊びを通して身近な自然に親しむ。

2学期 まとめ：幼稚園の友だちに伝えよう

- ・教わつたゲームを幼稚園児との交流でやってみようと言宣する。

【環境意識を育成し実践行動へとむすびつけるために工夫した点】

年間を通して、校庭や公園での活動を取り入れている。
児童にとって魅力ある活動を組み立てるようにしている。
ひとりの児童の気づきを全体に広げるようにしている。
ゲストティーチャーの協力を依頼している。

単元・授業の流れと活動目標

学習指導要領
の対応

導入	達人になろう	
	〔活動目標〕 ゲストティーチャーを紹介し、ゲームのやり方を聞く。	
	活動内容	指導、留意点
	ゲストティーチャーを紹介して、ゲームのやり方を聞く。	：ねらい： <u>ゲストティーチャーを自然の達人として紹介することで、自分たちも達人になろうという気持ちを持たせる。</u>
展開	自然体験ゲームをしよう	
	〔活動目標〕 校庭の自然を利用して、自然体験ゲームを行う。	
	活動内容	指導、留意点
	グループに分かれ、校庭に設けたポイントで、ゲストティーチャーの指導により、葉のにおいをあてるゲームや、コピー紙に葉脈を写しとるなどの自然体験をする。	：ねらい： <u>遊びを通して自然に親しむと同時に、身近な人と接することができるようになる。</u>
まとめ	幼稚園の友だちに伝えよう	
	〔活動目標〕 教わったゲームを幼稚園児に伝えよう宣言をする。	
	活動内容	指導、留意点
	教わった自然体験ゲームを、その後幼稚園児との交流で伝えよう宣言をする。	：ねらい： <u>その後の活動につなげて、自分たちが、幼稚園児に教えるという意欲を持たせる。</u>

生活 P.32

生活 P.27

道徳 P.42

学習の効果・児童の変化について

- ・校庭の木々のようすに関心をもつようになった。（落ち葉、木の実など）
- ・小さな音や声を聞き取ろうとする気持ちが芽生えた。
- ・日々の生活の中で、音や匂いについて気づいたことを話題にのせるようになった。
- ・「達人」という言葉がはやり、それを目指して、自信を持って取り組めるようになるための努力をするようになった。